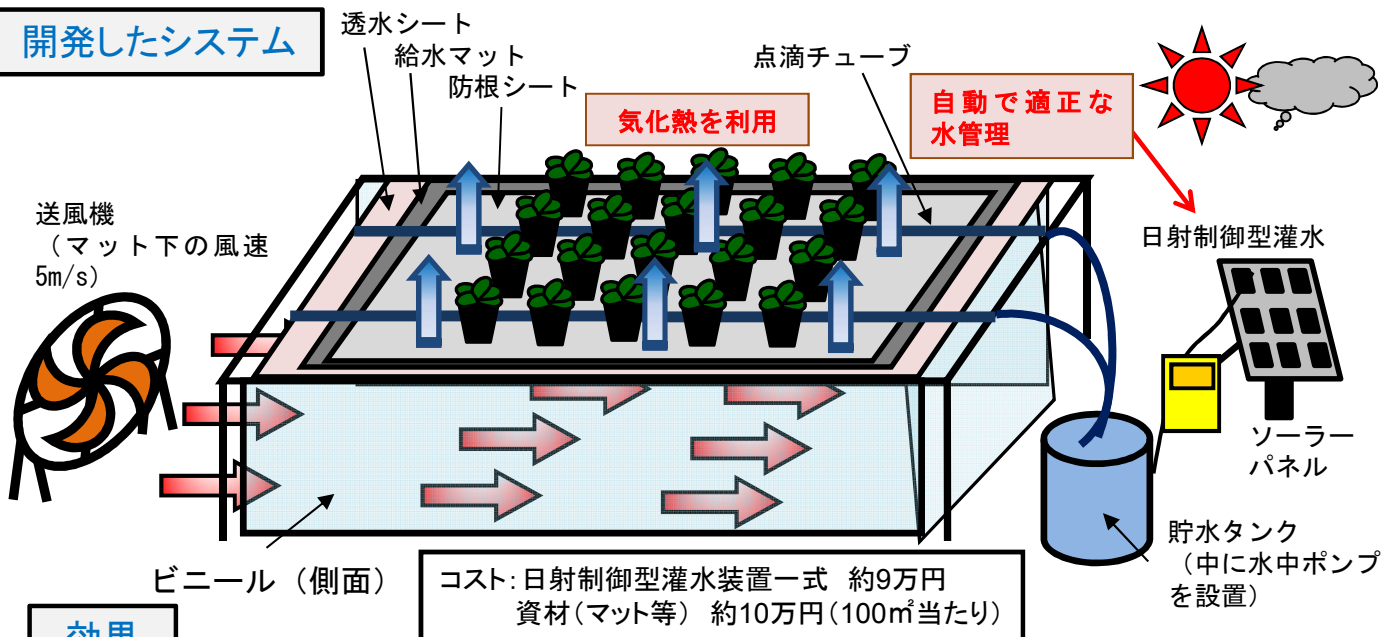


日射制御型底面給水とマットの気化冷却を 活用した花壇苗生産システム

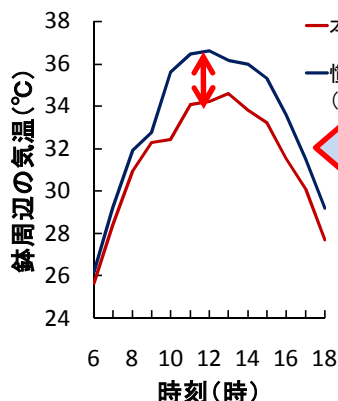
【背景・目的・成果】

花壇苗生産では、苗の上からの手灌水(かんすい)による水管理を行っており、夏季は特に多大な労力がかかります。また、夏季は高温の影響により、生育・開花の遅延や品質低下が問題となっています。そこで、**灌水作業を省力化**し、同時に、マット水分の気化熱を利用し、鉢周辺の**高温化を抑制**できる底面給水システムを開発しました。

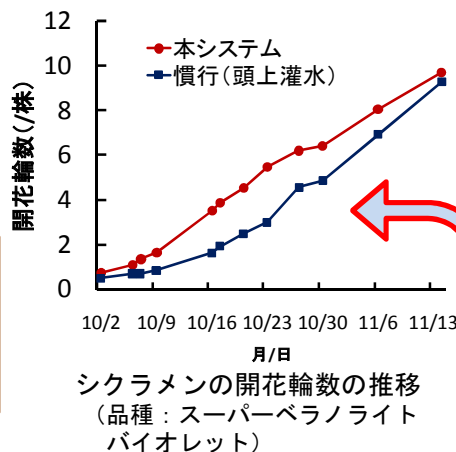
開発したシステム



効果



鉢周辺の
気温は
最大6℃
低下



本システム 慣行
本システムで栽培した
シクラメン

適正量の灌水により
高品質な商品
生産を実現

夏越し栽培するシクラメンでは開花促進の効果あり

灌水時間は、慣行(頭上からの手灌水)の約60時間(1ヶ月・10aあたり)から、
約3時間に削減(95%削減)

【技術の活用】

夏季以外の時期も、送風処理なしで、給水システムとして、通年利用できます。
また、品目を問わず利用できます。